

事業概要

応募No.	11		
事業主体	新潟市	実施都市名	新潟県新潟市
応募者名	新潟市 都市政策部 新潟駅周辺整備事務所		
ふりがな 事業名称	としけいかくどうろ3・4・535にいがたとやのせん 都市計画道路 3・4・535 新潟鳥屋野線		
事業概要 (400字以内)	新潟駅周辺地区は鉄道によって市街地が分断され、主な横断箇所が踏切であることから、周辺道路では慢性的な交通渋滞が発生していた。また、以前の経路は交通量が多く、歩道の未整備区間もあり歩行者にとって危険な状況であった。 当路線は、新潟駅付近連続立体交差事業に伴い、鉄道高架下を横断する幹線道路として整備するものであり、南北市街地の連続性及びアクセス機能の向上により、駅周辺地区の渋滞解消に寄与する。 さらに、新潟市交通バリアフリー基本構想の特定経路や南方代小学校の通学路及び新潟県緊急輸送道路ネットワーク計画の第三次緊急輸送道路に指定されており、無電柱化の実施や自転車道等の整備によって、安全で快適な移動空間を確保するとともに、駅を拠点とした道路ネットワークを形成することで交通の円滑化を図る。		
事業規模	事業延長	819m	
	幅員	30m	
	事業期間	平成18年度～令和元年度	
	事業費	約70億円	

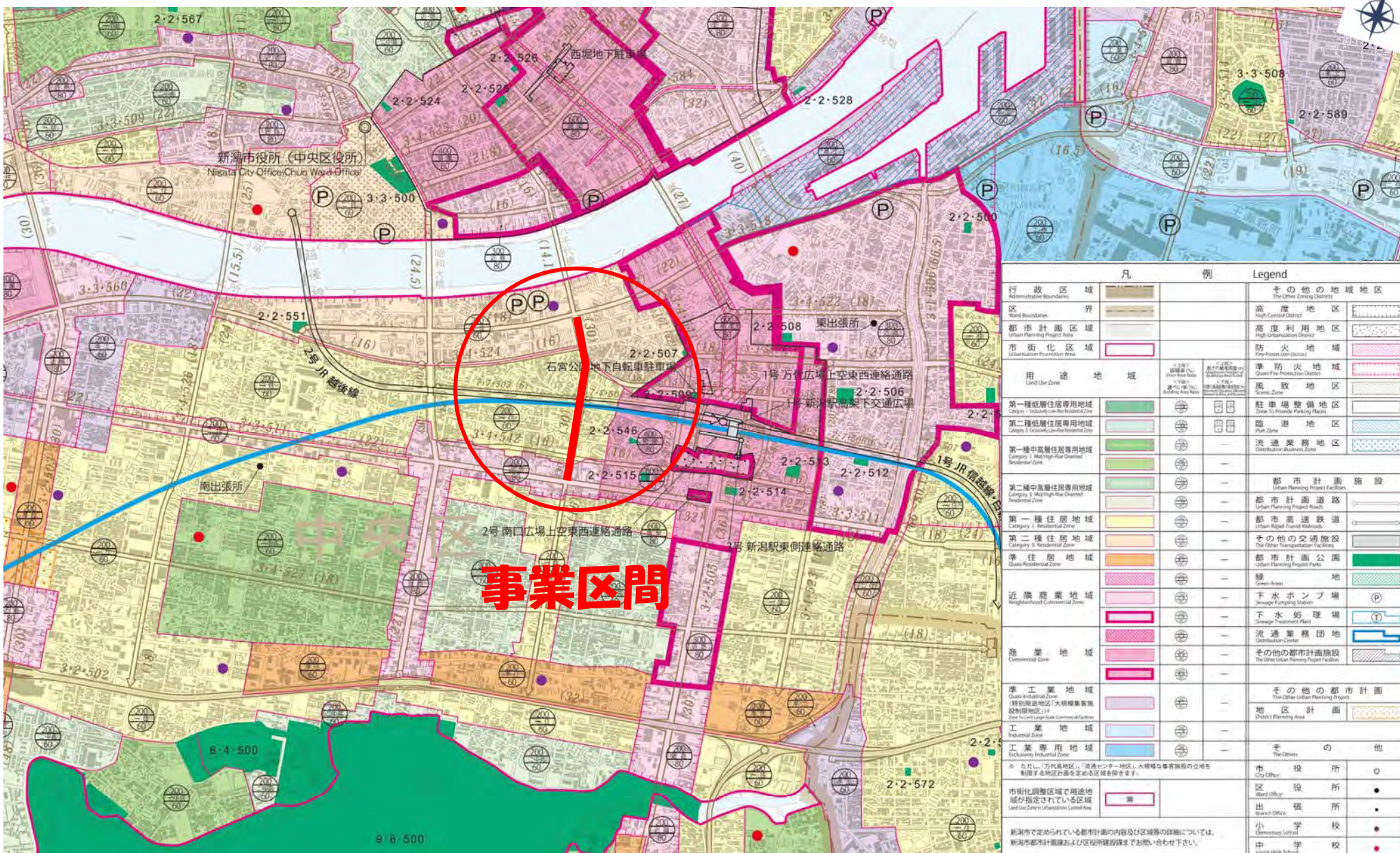
事業位置図

Google

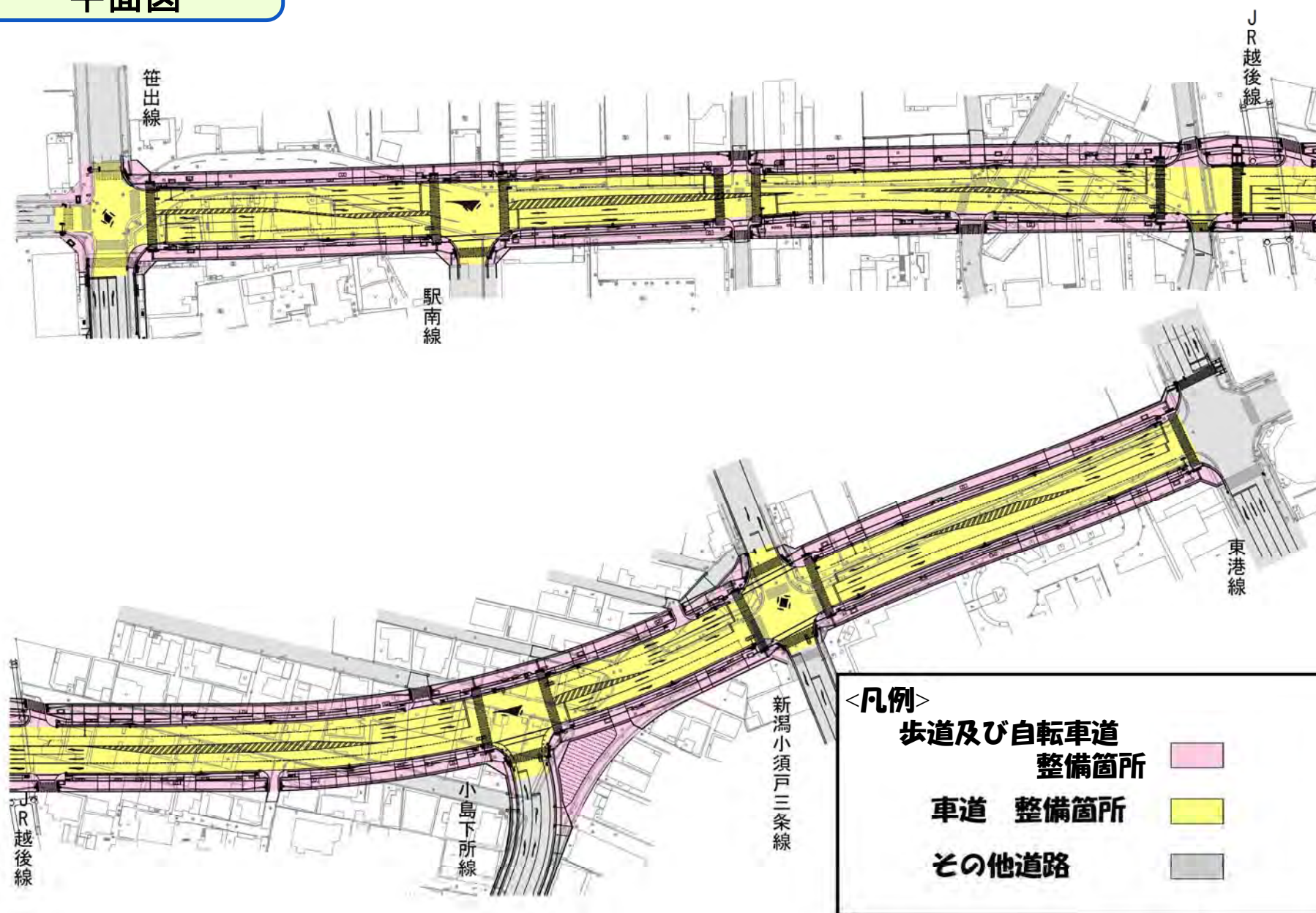


地図データ ©2020 1 km

都市計画図(用途地域図)

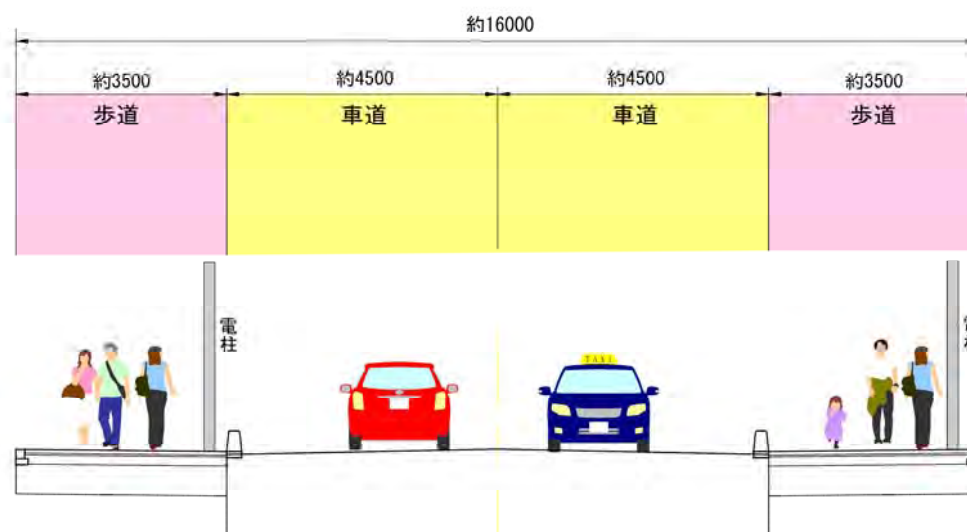


平面図



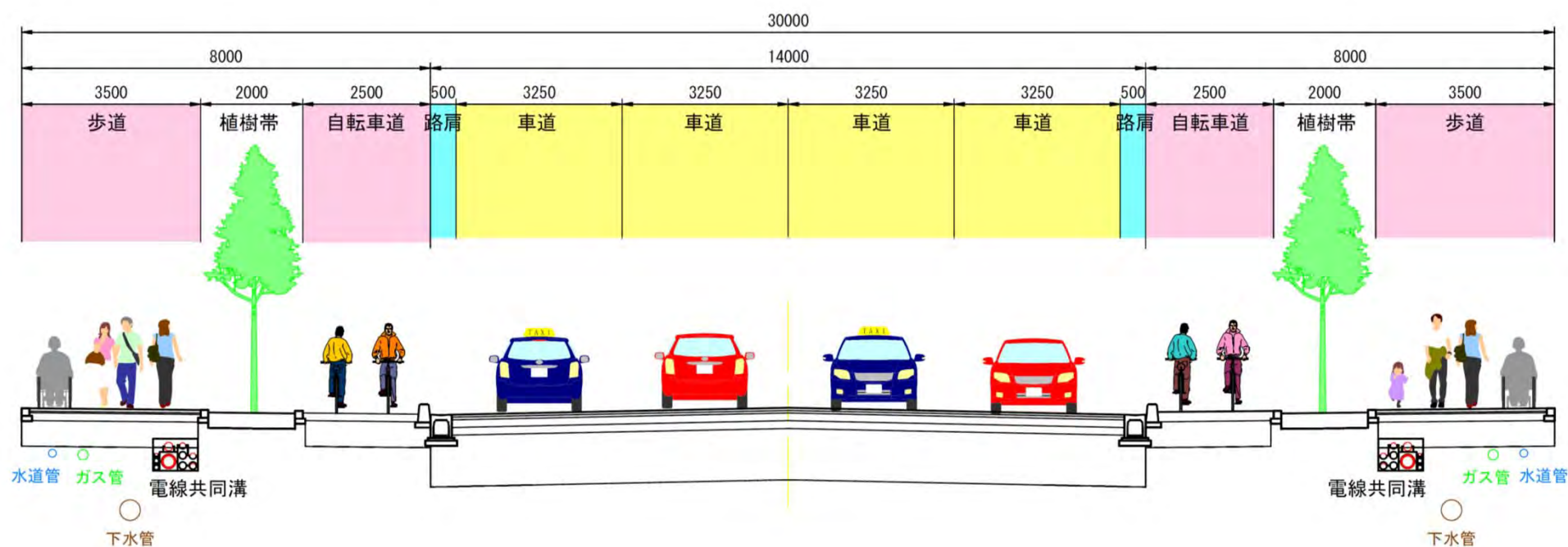
縦断図・横断図

事業前

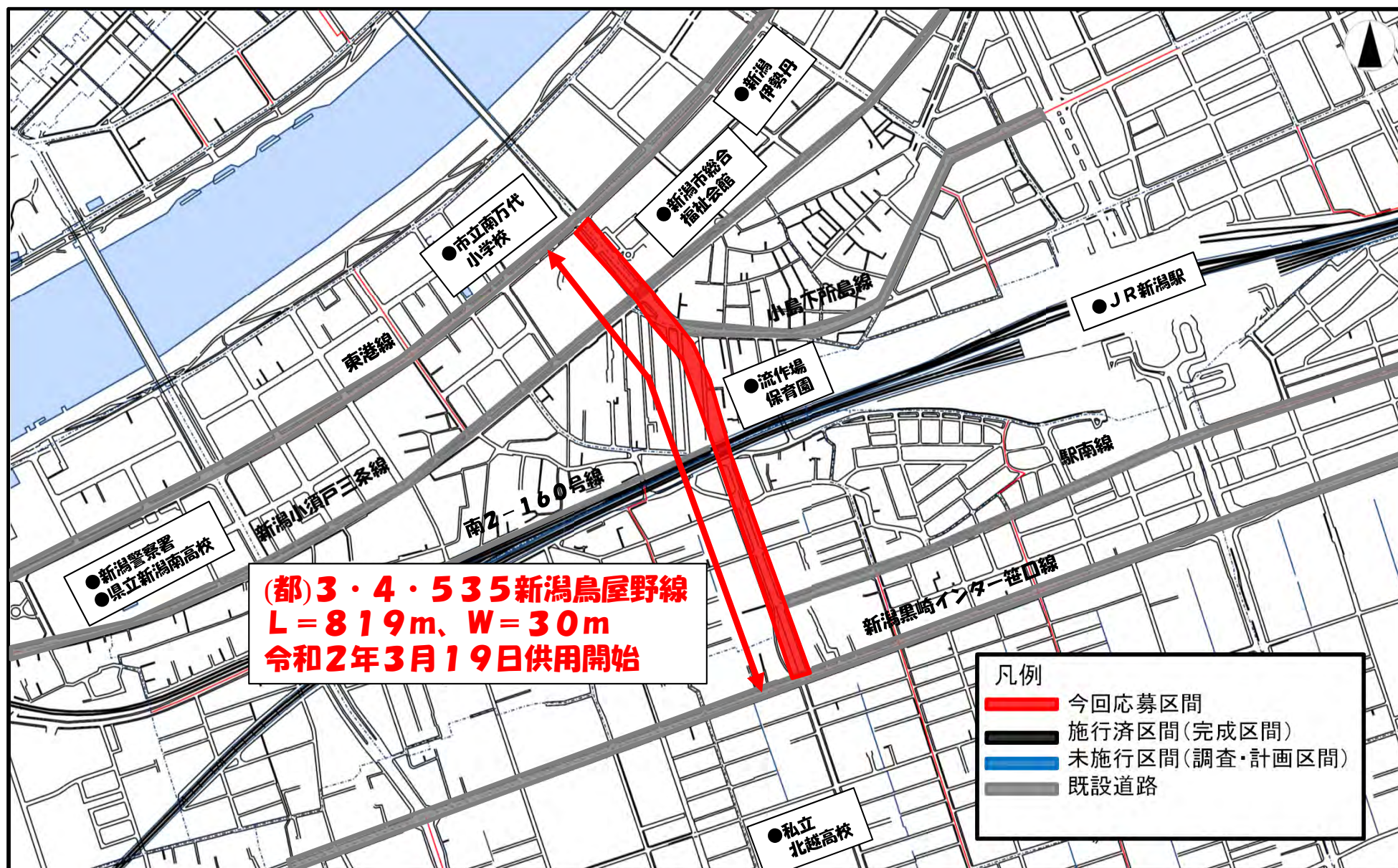


※左記、代表断面
その他、現道無区間や歩道無区間もある

事業後



路線全体の進捗状況



事業前写真

事業後写真

(新潟鳥屋野線)



南から北を望む(用地買収前のため
計画法線上に多数の民家がある)

平成18年3月撮影



南から北を望む

令和2年3月撮影

①



北から南を望む

- ◆道路拡幅、交差点改良による渋滞緩和
- ◆無電柱化による防災機能向上

平成18年3月撮影



北から南を望む

令和2年3月撮影

事業前写真

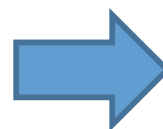
②

北から南を望む



◆鉄道在来線の高架化後、鉄道横断道路整備による南北市街地の一体化

平成18年3月撮影



事業後写真

(新潟烏屋野線)

北から南を望む



令和2年3月撮影

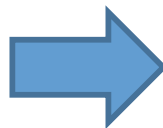
③

南から北を望む



◆用地買収により、屈曲した道路を直線道路に整備

平成18年3月撮影



南から北を望む



令和2年3月撮影

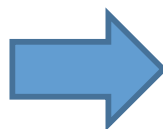
④

南から北を望む



◆自転車道整備により、歩行者・自転車の安全性向上

平成18年3月撮影



南から北を望む



令和2年3月撮影

事業効果アピール資料

安全性・利便性の向上（無電柱化）

◆防災機能の向上

地震の際、電柱の倒壊や、電線が垂れ下がることで、道路が寸断されることを防ぐ。



◆通行空間の安全性・快適性の確保

道路の見通しが良くなり、信号機や道路標識が見やすくなる。また、歩道が広く使えるため、歩行者や車いす、ベビーカーを利用する人にも安全で利用しやすい歩行空間が形成される。



◆その他

- ・良好な景観形成
- ・資産価値の向上

安全性・利便性の向上（自転車道）

◆自転車道の設置

ガイドラインに基づき設置。歩行者との完全分離を図り歩行者の安全性が向上。幅員2.5mを設け、自転車は対面通行ができる。



◆自転車用信号

対面通行に伴い自転車の安全性確保のため設置。現時点で、新潟市では本路線にしか設置されていない。



◆各種標識

交通規制看板を設置。道路法上の規制をかけた。また、歩行者・自転車分離標識を設け、初めて通る人にも視覚的にわかりやすい案内とした。



事業効果アピール資料

交通の円滑化

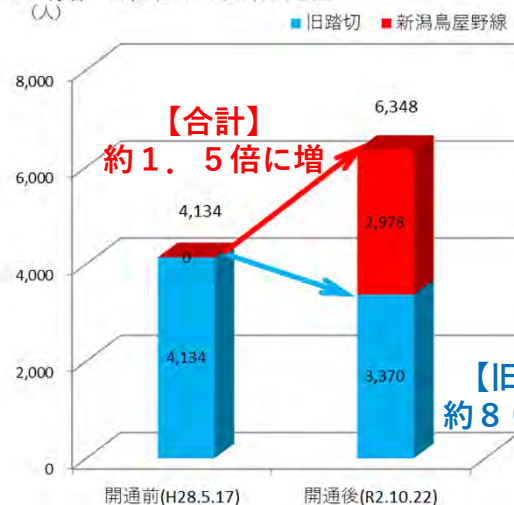
○新潟鳥屋野線の開通により、開通前の経路である旧米山踏切・旧天神尾踏切の交通量が減少しており、交通の転換により安全性・利便性が向上した。さらに、南北方向の総交通量は増加していることから、交通ネットワークの充実による交通の円滑化が図られている。

○旧踏切部は幅員が狭く、朝夕の混雑時間帯は自動車と歩行者が交錯するなど危険な場所であったが、交通量の減少により解消が図られた。

《自動車類の南北総交通量》



《歩行者・自転車類の南北総交通量》



開通前[踏切]



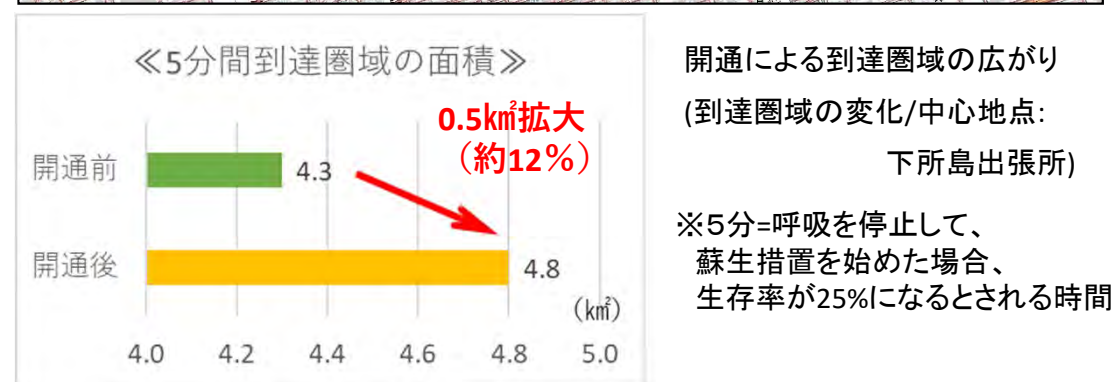
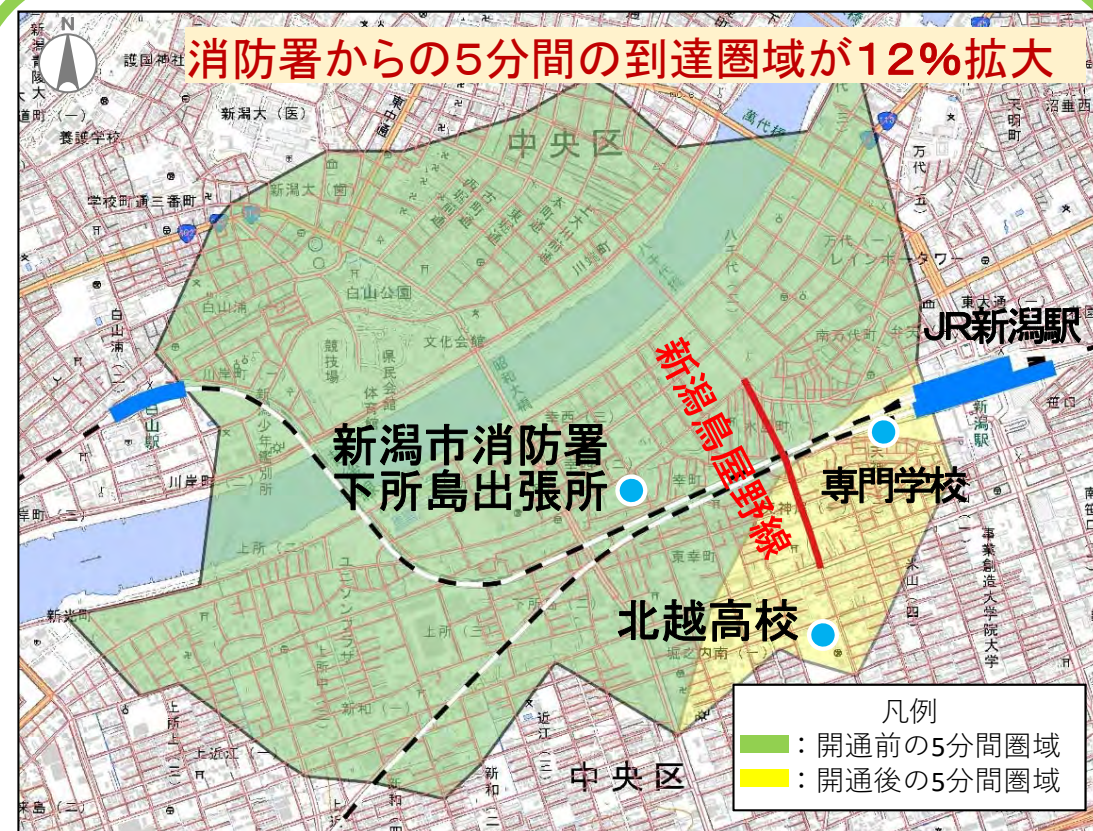
歩行者・自転車と
自動車が交錯

開通後[旧踏切]



自動車交通量が減少し
歩行者・自転車の安全性向上

【経路図】



(出典:H22センサスデータ、総務省消防局ホームページ)

苦労や工夫等アピール資料

●地元住民との調整

◆法線上やその周辺に多数の民家があり、工事着手にあたり、地元と情報共有を図りながら課題を解決し、理解して頂いた上で、工事着手に至った。

◆下記、主たる課題。

- ・整備により消失する公園の代替地
- ・民地と道路との地盤高の調整
- ・取付道路の接続方法
- ・交差点、信号機設置の有無
- ・町内会の中央を道路が通ることによる、コミュニティの分断
- ・道路から民地への車両乗入れの有無

◆右記、年表以外にも地元町内会長や警察と頻繁に協議を重ね、上記課題を解決し、工事に至った。

平成14年

第1~2回説明会

第1~3回勉強会

平成15年

第3~6回説明会

平成16年

都市計画変更
説明会等

平成17年

都市計画変更

平成18年

事業認可

平成19年

用地買収交渉

平成20年

平成21年

第1回まちづくり
勉強会

まちづくり
ニュース①

平成22年

第2回まちづくり
勉強会

まちづくり
ニュース②~④

平成23年

工事着手



説明会・勉強会の様子



まちづくり勉強会の様子



まちづくりニュース

苦労や工夫等アピール資料

●住宅街での施工

当路線は、市街地内における住宅等が隣接した現場であり、併せて長期間に渡り鉄道高架化工事も行われていたことから、周辺住民に出来る限りの配慮をしながら工事を進めた。



●多数の関係機関協議

当路線は、鉄道の高架下を横断する道路であり、併せて電線共同溝工事を行ったことから、鉄道事業者や電線管理者と工程や施工方法等について多くの協議が必要であった。



●交通の切り回し

施工区間が交通量が多い現道を含めての工事であったことから、交通の切り回しを行いながら工事を進めていく必要があり、施工計画を検討する段階から多くの課題解決を求められた。



●事業効果の早期発現

施工にあたっては117件の用地取得が必要であり、長期の時間を要したが、施工可能な箇所から工事を進め、部分的に供用を開始することで、事業効果の早期発現に努めた。



受賞歴・報道資料

令和元年5月にJR越後線の高架下区間の工事が完了したことで、鉄道で分断された南北の道路がつながり、2車線で部分開通をした。4車線での全面開通は無電柱化事業における入線・抜柱後の令和2年3月であるが、南北横断による事業効果の早期発現を図るため、先行して2車線で開通をした。下記はその際の新聞等報道である。

在来線高架下 新潟鳥屋野線が開通

新潟市が進めているJR新潟駅周辺整備事業で、在来線の高架下を横断し、駅南北の市街地をつなぐ幹線道路「新潟鳥屋野線」(中央区八千代1-米山)が9日、2車線で開通した。鉄道を挟んだ南北の市街地の一体化による活性化や渋滞解消が期待される。2019年度中の4車線全面開通を目指す。

南北一体活性化へ期待 本年度中にも4車線化

06年度に着手した同整備事業では、高架を南北に横断する幹線道路が4本計画されており、「新潟鳥屋野線」が最初の開通となる。他の3本は事業費の問題から、11年度にアクセス道路などの事業を連結、当初計画に比べて「高架化の効果」が期待されている。

鉄道による市街地の分断は、都市機能の面で課題の一つになっていた。これまで駅西側で鉄道を横断する道路は、駅から1キロ以上離れた西路線橋があり、それを通る2カ所の踏切(昨年撤去)しかなかった。新潟市は「鳥屋野線」の開通により、市街地の連続性の確保や交通の利便性を向上させることを目指している。

事業区間は八千代橋東詰の東海線から笹出線までの延長819メートル、幅員30メートル。総事業費は約70億円。4車線全面開通は令和2年度中を予定している。

開通した「新潟鳥屋野線」。鉄道を挟んだ南北市街地の一体化などが期待されている。9日、新潟市中央区




令和元年5月10日 新潟日報

北関東・信越

新潟駅南北結ぶ道路、5月9日に2車線開通

2019年4月19日 20:31

新潟市はJR新潟駅南北の市街地を結ぶ新しい道路「新潟鳥屋野線」が5月9日に2車線で開通すると発表した。新潟駅の周辺整備事業の一環で、南北の行き来など利便性が大きく向上する。2019年度中には4車線の全面開通を計画する。

新潟鳥屋野線は新潟駅から西に約700メートルの場所にある。18年に高架化したJR越後線の下を走る。新潟鳥屋野線の事業区間は819メートル、幅員が30メートルで、総事業費は約70億円を見込んでいる。

5月9日に2車線の190メートル分を開通させる。道路の両側にある自転車の走行区間と歩道も通れるようになる。

これまで新潟駅の西側で南北を往来するには、駅近くの道幅が狭い踏切を通るか、駅から約1.4キロメートル離れた幹線道路を通る必要があった。市は駅の南北で市街地が分断されている問題を解消するほか、歩行者らの安全性を高める効果なども見込んでいる。

平成31年4月19日

日本経済新聞(ウェブ)

平成31年4月16日

にいがた経済新聞(ウェブ)

にいがた経済新聞

新潟鳥屋野線が5月9日10時に2車線で一部供用を開始

© 2019-04-16 2年前 〇 まちづくり、下地、行政

鉄道を挟んだ南北市街地間のアクセス向上などに期待

新潟市は16日、八千代橋と笹出線を結ぶ4車線道路として整備を進めている都市計画道路 新潟鳥屋野線が、5月9日10時に、2車線で一部供用を開始すると発表した。供用開始により、鉄道を挟んだ南北市街地間のアクセス向上や、歩行者・自転車の分離による安全性向上などが期待できるという。4車線全面供用開始は2019年度中の予定。

【事業概要】

事業区間/中央区八千代1丁目~中央区米山(下地図参照)

延長/819m

幅員/30m

車線数/4車線(今回供用は2車線)

新潟市では今年1月25日に、5月中旬に一部供用を開始すると発表していた。
<https://www.nikkei.jp/10514/>



受賞歴・報道資料

令和2年3月19日に全面開通し、直後に開通イベントを行う予定であったが、コロナ禍ということもありイベントを延期した。下記は遅れて行ったイベントのテレビ報道である。



令和2年10月30日 TeNYテレビ新潟

YAHOO! ニュース IDでもっと便利に新規取得 ログイン 対象ストアで買うと11/14~さらにお得に

キーワードを入力 | Q

トップ | 速報 | ライブ | 個人 | 特集 | みんなの意見 | ランキング | 主要 | 国内 | 国際 | 経済 | エンタメ | スポーツ | IT | 科学 | ライフ

JR新潟駅の高架化に伴い整備 「新潟鳥屋野線」の開通祝うイベント (新潟県)

10/30(金) 19:23 配信 8

TeNYテレビ新潟

開催 JR新潟駅の南北を結ぶ「新潟鳥屋野線」開通祝う

新潟市 中野市長

駅南と万代方面の活性化がさらに進むよう (今後の事業に) 努めていきたい

TeNYテレビ新潟

JR新潟駅の高架化にともない整備された道路「新潟鳥屋野線」がことし3月に全面開通した。新型コロナウイルスの影響で延期となっていた開通を祝うイベントが10月30日に開かれた。

「新潟鳥屋野線」はJR新潟駅の高架化にともない新潟市が総事業費約70億円をかけて整備した道路でことし3月に全面開通した。全長は819メートル。幹線道路として古町地区と駅南地区を結んでいる。

30日は新型コロナウイルスの影響で延期されていた開通を祝うイベントが開かれ、近くにある南万代小学校の6年生も参加した。

児童はクイズスタンプラリーに挑戦し、通学路としてなじみのある道路への理解を深めていた。

通学路にしている児童は「(歩道が) すごく広がって安全になったと思います。(整備される前は) 道が狭くて車とかがくると危ないかなと思っていました」と話していた。

中野市長は「新潟の駅南と万代方面の活性化がさらに進むよう (今後の事業に) 努めていきたい」と述べた。

新潟駅の南北を結ぶ道路は2030年代までにあと3か所整備される予定だ。

最終更新: 10/30(金) 19:23 TeNYテレビ新潟